

令和2年6月5日

登録チーム・選手ならびにスピードボール関係各位

日本スピードボール協会
代表理事 木原太郎

新型コロナウイルス感染症禍における本会の活動について

本会では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の蔓延を受けて、2月27日に3/22開催を予定しておりました競技大会の中止を決定・告知いたしました。さらに4月7日の政府による緊急事態宣言発令より先行する形で約3カ月弱の期間、各種活動を自粛してまいりました。この間、国民の不断の努力と負担、社会的な混乱、大きな経済的損失を引き換えに、感染拡大の勢いが緩和し、ようやく5月26日に全都道府県の緊急事態宣言が解除されました。これを受けて本会でも活動の再開へ向け、準備を開始いたしました。

つきましては、これまでのコロナ禍での本会活動ならびに、COVID-19の留意点とそれを踏まえての今後の活動方針・施策をお知らせいたします。

1. コロナ禍での政府の動向と本会活動の対比

- 1月16日 国内初の感染者
- 1月29日 武漢より政府のチャーター機で現他の邦人帰国が開始
- 2月03日 船内感染を起こしたダイヤモンドプリンセス号が横浜に寄港
- 2月04日 **(JSBF) SB 導入検討の千葉県内の高校にて教師若干名を対象に体験会実施**
- 2月25日 政府が新型コロナウイルス感染症対策の基本方針
- 2月27日 全国の小中高校に対して3/2から臨時休校の要請
- 2月27日 **(JSBF) 3/25の競技会開催中止を決定し各位へ告知**
- 3月06日 **(JSBF) 広報活動として4名がテレビ東京スタジオにて番組収録参加**
- 3月07日 **(JSBF) 活動自粛を開始(電話・メールでの対応のみ受付)**
- 3月10日 新型インフルエンザ対策特措法改正案を閣議決定
- 3月14日 3/6収録のテレビ東京の番組が放映
- 3月26日 政府が緊急対策本部を設置
- 4月07日 緊急事態宣言発令
- 5月15日 一部の自治体を残して緊急事態宣言の解除
- 5月26日 すべての都道府県で緊急事態宣言の解除
- 5月27日 **(JSBF) 活動再開に向けて準備を開始**

2. COVID-19 の留意点

- ・物体の表面についたウイルスは時間経過とともに死滅。
ただし対象となるものによって 24 時間～72 時間ほど感染する力を持続する。
ボール紙では最大 24 時間、ステンレス鋼で 48 時間、プラスチックの表面では最大 72 時間生存するとの研究報告があります。
(スピードボール用具は、ボールやグリップがゴム、紐がナイロン、ラケット本体がプラスチック樹脂、スタンドがステンレス鋼・鋳鉄・炭素鋼。いずれも除菌が必要と考えます)
- ・閉鎖した空間・近距離・多くの人と会話する環境で、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染リスクがあります。
(大会や練習においてもこのリスクを十分に理解して蜜を避ける施策が必要と考えます)
- ・Social distancing: 社会的距離、マスク着用、咳エチケット、石けんによる手洗い、アルコールによる手指消毒、換気など一般的な感染症対策や、十分な睡眠をとる等の健康管理による免疫力向上が必要です。
(消毒液について一部輸入製品について表示されているアルコール度数を大幅に下回る悪質な製品が出回りました。また「次亜塩素酸ナトリウム」と新型コロナウイルスへの有効性が確認されていない「次亜塩素酸水」を混同するケースが多々見受けられます。正確な情報の取り扱い・ファクトシートの徹底確認が必要と考えます。)
- ・ワクチンは現時点で有効なものはありません。
(そのためウイルスとの共生を前提とする新しい生活様式への移行に準ずる)

3. 今後の活動方針・施策

ウイルス感染者の増加ペースは落ちたものの、東京や北九州などで集団感染の報告も出ています。また第 2 波第 3 波を懸念する見方が大勢を占めており、本会でも引き続き安全面の重視を心掛けて、以下のとおり活動の方針と施策を案内します。

1) 競技会について

COVID-19 の蔓延や感染拡大の状況を踏まえつつ開催時期を調整し、秋以降に「全日

本選手権」や「チーム対抗戦」の開催を目指します。現時点で具体的な日程はなく全くの白紙の状態ですが、検討を重ねて少しずつ準備を進めていきたいと思えます。会場の確保や各チームの練習状況や社会の状況を十分に踏まえて、段階的に活動を再開・実施し、そのうえで各種判断と行い、日程の調整をしております。

2) 合同練習会・体験会・イベント・取材対応などについて

5月25日に発表された「外出自粛の段階的緩和の目安」のステップ2で、全国を対象に県をまたぐ移動の自粛解除が6月19日に予定されています。本会もこの政府の活動指針に沿って行動いたします。

-- 本会活動の再開時期と内容について --

- ・6月からJSBF公認指導教室の再開
羽田カルチャーセンター（マルエツ新糀谷）
ならだいスポーツクラブあまつな（船橋アリーナ市民体育館）
- ・6月7日『ジャンク SPORTS』（フジテレビ系列全国ネット）にて、番組終盤にマイナースポーツの1つとしてスピードボールが動画にて紹介されます。
（スタジオ内でのスポーツ収録を控えるため、今回はYouTubeチャンネル内の動画を利用した紹介となりました）
- ・7月に強化合同練習会の開催
名称：JSBF 夏季強化合同練習会
日時：7月19日・日曜日9時30分～16時00分 予定
場所：富津市社会総合体育館

3) 各チームの活動再開における注意事項

6月より徐々に活動を再開するチームもあるかと思いますが、政府および地元自治体や施設の活動指針を厳守するとともに、ウイルス感染拡大防止において規律と責任ある活動を心掛けてください。また以下の点を留意したうえで安全を担保して練習を再開してください。

1. 個々に体調管理、練習日前日ならびに当日の検温
2. Social distancing: 社会的距離の確保（特に練習の合間の休憩時間）
3. ラケット、ボール、スタンド、シートの除菌、手洗い消毒
3. プレー時以外はマスクを着用する
4. プレー時はバフやフェイスガードなど夏用・冷感スポーツマスク着用を推奨
ただし熱中症予防の観点から気候や体温によってはマスクをしない
5. 練習再開時は急激な運動量を避け、徐々に体を慣らす
6. 準備運動を入念に行い、休憩回数多く取り、過剰な練習を避ける
7. ソロやシングルスプレーの練習のみとし、蜜となるダブルスや集団打ちは控える

4) その他体験会・イベント・取材対応

蜜を避け、人数や配置、時間、内容によって安全な環境下でのみ実施します。各チームの練習会での新規体験者の受け入れについても、参加者の安全を十分に確保したうえで実施してください。

5) 本年度(2020年4月から2021年3月)の加盟登録と費用の免除について

1. 本年度の団体加盟費用を全額免除とする
2. 本年度の選手登録費を全額免除とする
3. ただし保険等対応のため各チームは加盟登録の事務手続きは行う
加盟登録については別途案内を通知いたします